令和４年１２月６日

公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構

令和４年度受注企業実態調査結果（概要）

標記調査の結果を下記のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

記

１　調査概要

(1)　調査目的‥‥‥‥‥受注企業の生産・経営状況等の実態を把握して今後の中小企業振興の一助とする。

(2)　調査対象‥‥‥‥‥県内の中小製造業 1,369 事業所

(3)　調査方法‥‥‥‥‥郵送・Web によるアンケート方式

(4)　調査時点‥‥‥‥‥令和 4 年 10 月 1 日現在

(5)　回答状況‥‥‥‥‥回答企業　330 社（24.1%）

２　調査結果の概要

・受注量は、「増加した」「変わらない」とする企業の合計が約 7 割と昨年とほぼ同等の数値となった。
・経営上の問題点では、「石油・原材料価格の上昇」とする企業の割合が昨年比約 2 割増加し、5 割を超える。また、「人材不足」とする企業の割合も昨年に引き続き 5 割を超えており、引き続き問題となっている。
・ＩＴ化、ＤＸ化に取組んでいる企業は約 2.5 割、今後取り組みたいが約 5 割となっている。
・カーボンニュートラルに取組んでいる企業は約 3.5 割で目的はコスト削減となっている。
・機構事業に対する要望は、助成金制度の拡充、販路拡大支援、人材確保が多い。

３　主な調査結果

(1)　受注量・受注単価・収益性の動向

・受注量は、「増加した」が35.0%。　（前年比　3.2ポイント減）
・受注単価は、「増加した」が38.5%。　（前年比 24.4ポイント増）
・収益性は、「良くなった」が19.7%。　（前年比　4.0ポイント減）

(2)　経営上の主な問題点

・「受注量の確保」が、58.6%。　（前年比 3.8 ポイント減）
・「石油・原材料価格の上昇」が、55.2%。（前年比 23.8 ポイント増）
・「人材不足」が52.5%。　（前年比 0.2 ポイント増）

(3)　ＩＴ化・ＤＸ化に関する取組みについて

・「取組んでいる」が25.8%、「今後考えてみたい」が48.7%。
・取組みたい課題は、「生産性向上」が75.3%、「人材育成」が29.0%。

(4)　カーボンニュートラルへの取組みについて

・「取組んでいる」が35.1%、「取組む予定」が19.3%。
・取組む目的は、「エネルギーコストの低減につながる」が78.4%。

(5)　支援策の要望

・機構事業の中で今後充実して欲しい支援策は、「助成金制度の拡充」が60.5%、「販路拡大支援」が 45.4%、「人材確保」が 29.4%。

【お問合せ先】

（公財）いばらき中小企業グローバル推進機構　産業振興課　　近藤、永峰
〒３１０－０８０１　水戸市桜川２－２－３５　　茨城県産業会館９階
ＴＥＬ：０２９－２２４－５３１７　　Ｍａｉｌ：　kigyo@iis－net. or. jp